

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

夏かぜに注意が必要です！



夏かぜって？

一般的には5月から8月にかけてみられるウイルス感染症です。ほとんどはエンテロ系と言われるウイルスです。特徴として、水に強いこと（そのためプールなどで感染しやすい）、腸管系ウイルスと言われ、腸内で増えて便中に排泄されます。

熱発だけなら自宅で様子を見ても大丈夫ですか？

突然の高熱で発症することが多いですが、目やにやのどの痛み、おう吐・下痢、頭痛、発疹など様々な症状を伴います。熱だけならあわてる必要がありませんが、他の症状を伴ってごはんが食べられない、グッタリするなどの症状があれば早めに受診しましょう。

高熱で時々震えています。これってけいれんですか？

高熱の時は悪寒（おかん）といって、ブルブルからだが震えることがあります。けいれんとの違いは、悪寒の時は意識はあること（呼びかけたら反応してくれます）、時間が短い（数秒から数十秒ブルブルします）ことです。ただし悪寒が見られるときは急激に体温が上がっていくサインですので注意してください。

寝るときはエアコンをつけても大丈夫ですか？汗をかいたほうがいいのですか？

室温・湿度を適切に保ってあげることは重要です。逆に無理に汗をかかそうとすると、熱中症やけいれんを引き起こす可能性があります。

食欲なくてご飯を全然食べません。点滴を受けたら元気になりますか？

点滴の目的は失われた水分とミネラル（塩分など）を補うことにあります。脱水の時は効果がありますがカロリーを補うことは難しいので、食べやすく消化しやすい炭水化物で補いましょう。

夏かぜと熱中症の違いは？

夏かぜはウイルスの感染により、からだが防御反応を起こして体温があがります。熱中症は高温多湿の環境下で水分やミネラルが汗や呼吸から失われて、体温が上昇したり様々な症状を引き起こします。いずれの場合もクーリングとミネラルを含んだ水分補給は重要です。



当院の新型コロナウイルスの対応について

当院で新型コロナウイルスのPCR検査はできません。疑いの患者も現在は受け入れていませんので、新型コロナウイルスの感染者との濃厚接触者や感染の疑いのある患者さんは相談窓口へお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症に関する 一般電話相談窓口(コールセンター)

大阪市にお住まいの方
06-6647-0641 (24 時間対応)

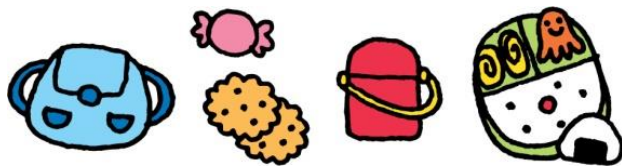
大阪府(大阪市以外)にお住まいの方
06-6944-8197
(土日祝も対応 9:00~18:00)

※詳細は大阪府、大阪市のホームページをご確認ください

当院の流行状況

新型コロナの影響で外出を控えている方が多いため他の感染症の検出数はとても少なくなっています。

アデノウイルス感染症が検出されています。これから学校が再開すれば流行する可能性があります。暑い日が多くなってきました。**食中毒**にも注意が必要です。



5月の製作内容です。 新型コロナウイルスの影響で病棟保育も縮小して行っています



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。
- 駐輪場側の入り口横に売店が出来ました。是非ご利用下さい。